

園評価の結果について

学校法人 北邦学園
菊水いちい認定こども園

令和2年度に実施した菊水いちい認定こども園の自己評価の結果の概要は、次の通りです。

建学の精神 『自然から学ぶ』

1 本園の教育目標

- ◎思いやりのある子
- ◎考え工夫する子
- ◎明るくたくましい子

【学年のねらい】

- 0歳児 保育教諭と触れ合う中で安心感を得て、様々なものや友達に興味をもつ
- 1歳児 保育教諭や友達と関わりながら遊ぶ中で、自分の気持ちを表現する楽しさを感じる
- 2歳児 様々なことに興味や関心をもち、自分の気持ちを表現したり、
友達に親しんだりして関わる楽しさを感じる
- 3歳児 様々な遊びや活動の中で、自分の気持ちを存分に表現したり、
友達と一緒に遊んだりすることを楽しむ
- 4歳児 いろいろな友達との遊びや活動を通して、自分の気持ちや考えを表現したり、
意欲をもって取り組んだりすることを楽しむ
- 5歳児 様々な活動に意欲的に取り組む中で、見通しをもって自分で考えて行動したり、
友達と協力して活動を進める充実感を味わったりする

自己評価	評価内容
B	・新型コロナウイルス感染症対策に伴う休園や様々な行事の実施変更等があったものの、内容や環境の工夫をしながらねらいはおおむね達成できたと考える。

(A : 成果が上がった。 B : ある程度成果が上がった。 C : もう少し努力が必要。 D : 改善が必要。)

2 重点的に取り組んだ目標・計画について

(A：成果が上がった。 B：ある程度成果が上がった。 C：もう少し努力が必要。 D：改善が必要。)

目標/計画	自己評価
環境（ゾーン）の工夫	<p>子どもたちの心を遊びへ駆り立てるには不十分だった園庭が、“ホッピーやぐら”や“おひさまキッチン”の設置で大変魅力的になった。おひさまキッチンでは家庭の台所やレストランの厨房など、普段の生活で見たり触れたりした経験を存分に活かしたり、砂場と連動させたりしながら遊びを展開している姿が多くみられ良かった。</p> <p>現在の園庭には遊びに取り入れることができる草花がほとんどない。今年度は工事の関係等で花壇の設置を見送ったが、次年度は子どもたちが自由に採取できる花壇を設置しようと考えている。その際は、見たり飾ったりすることはもちろん、すりおろして色水にした時に美しい花などを調べて植えていく。</p> <p>ホッピーやぐらにある小屋は、図鑑を設置するなど、落ち着いた雰囲気でも過ごせるよう環境を整えたのだが、子どもの遊びの盛り上がりはいまひとつだった。やぐらならではの高さを生かした環境を整え、空や景色に目を向け、心地よさなどを感じられるようにしていく。</p>
乳児クラス的环境を工夫する	<p>昨年度の研究保育の結果を生かし、保育室内にゾーン（2～3か所）を設置した。0歳児クラスは押す、引く、回すなどの手先を使って遊べる玩具を手作りしたり、登る、降りる、滑り降りるなど全身を使って遊べる環境を整えた。子どもたちが様々な“試し”ができる環境は0歳児の主体性を育むには効果的だったと評価している。</p> <p>1, 2歳児クラスは生活体験が遊びのアイデアとなるよう環境を整えた。いずれのクラスも台所を設置したり、車を走らせる道路（シート）を敷いたりした。1歳児クラスでは、空間を区切ったものの、1つ1つの場所（ゾーン）の特色が伝わりにくく、子どもの遊びへの意欲を引き出すには課題が残っている。</p> <p>2歳児クラスは設けた3つのゾーンで子どもたちがいきいきと遊びを繰り返し広げており、次年度以降の基本的な環境構成としていけるのではと考えている。</p>
新型コロナウイルス感染症対策を講じながらも充実した園生活を送れるよう活動や環境を工夫する	<p>園生活の全ての場面においてコロナ対策が必要となり、特に行事については一から考えることばかりだった。</p> <p>しかし、これまでの保育の在り方を振り返る良い機会ともなり、コロナ対策としてだけでなく、保育として効果的だったと評価できるものは継続していこうと考えている。</p> <p>また、日々の活動や行事について、できるだけ中止にはせず、実施方法や内容、環境を工夫して行ったことは評価している。次年度もこうした対応は必要と思われるので、今年度の評価や反省をいかしていく。</p>

3 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
乳児の発達について学びを深める	<ul style="list-style-type: none">・研修に参加したり、専門書を読んだりして乳児がどのように成長するのか学ぶ。・各自が学びえたことを伝え合い、学びの確かめをしたり、学びを共有したりしながら保育に活かしていく。・個々の姿や集団の様子について保育教諭間で話し合い、気づきなどを共有する。
0～2歳児クラスの実環境の工夫（ゾーン）	<ul style="list-style-type: none">・1，2歳児クラスは生活体験を遊びのアイデアとして生かせる環境を整え、遊びへの意欲を引き出していく。・引き続き1，2歳児クラスの実環境について考え、遊びの場を整えていく。・0歳児クラスは手先を動かして遊び、全身を使って遊ぶ、空間を楽しむことができるよう環境を整え、様々なものごとに興味をもって関わろうとする気持ちを育てていく。
玩具について学ぶ	<ul style="list-style-type: none">・これまで使用してきた玩具の中には学園で選定した玩具の基準にそぐわないものがあるので見直しをおこなう。・それぞれの玩具が子どもたちにどのような刺激を与え、どのような成長につながるのか学びを深める。